

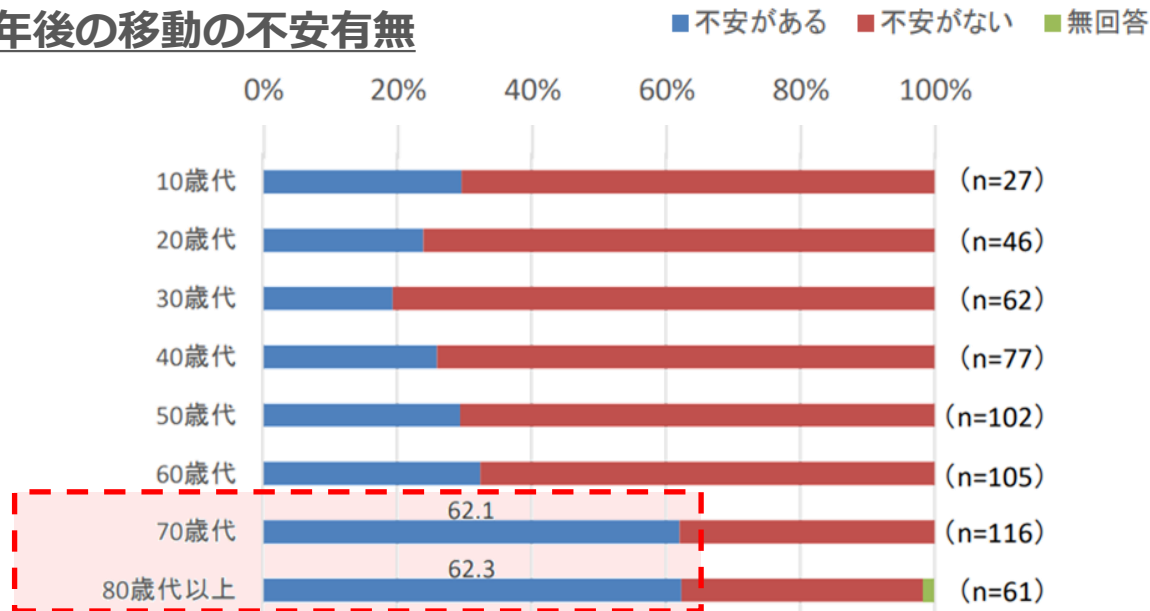
令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面
展開プロジェクト交通空白解消のための調査業務
委託裾野市交通空白解消のための調査業務報告書
実証結果

本取組の背景：裾野市の社会情勢と現状

裾野市では、若年層・高齢層問わず、公共交通に対する不満や不安の声が多く、特に交通空白地などの課題が顕在化。

裾野市における社会情勢

5年後の移動の不安有無

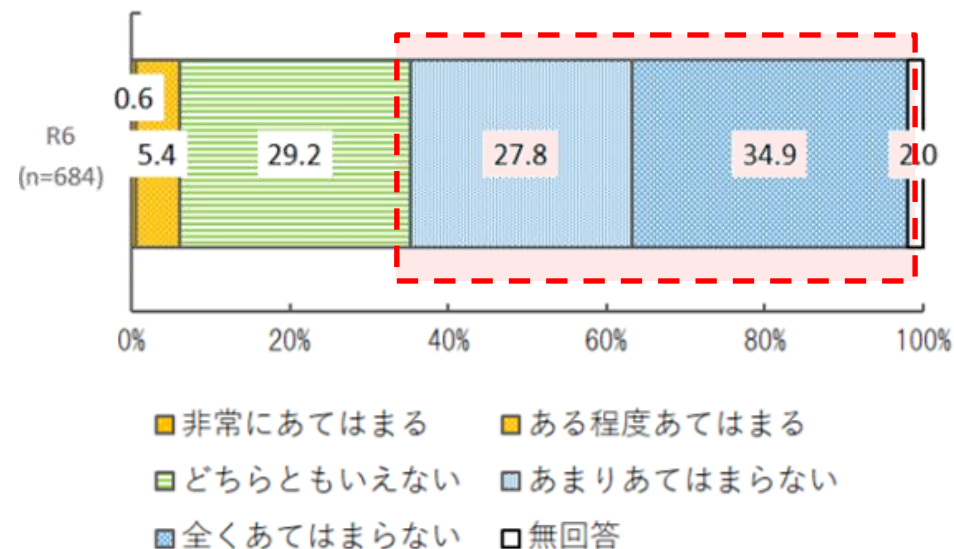


出典：裾野市 公共交通に関する市民アンケート結果（令和4年11月）

- **高齢者の5年後の外出不安増大（70歳以上で60%超が不安）**
→若年層も「公共交通の不便さ」、高齢層は「運転できない不安」を感じている
- **運転手の高齢化・担い手不足が深刻（タクシー平均70歳）**

現状の課題

バス路線や便数の満足度



出典：裾野市 市民意識調査 調査結果報告書（令和6年度）

- **公共交通の市民満足度が低い（バス路線・便数に6割以上が不満）**
→**交通空白地**の増加、乗継ぎのし易さで3割以上が不満
- **公共交通維持に年間約9,400万円の大きな行政負担**
※出典：裾野市地域公共交通計画「表7：路線バスの行政負担額(令和3年度)」(令和5年2月)

本取組の背景：裾野市のめざす公共交通の方向性

地域ニーズと効率性が両立した公共交通の再構築が求められており、地域と一体となった公共交通の利用増加・移動手段の充実を目指す。

裾野市地域公共交通計画の基本理念：

地域が一体となって守り育てる公共交通ネットワークの構築により、誰もが安心して移動できる持続可能な地域公共交通を実現する。

方針	目標	事業メニュー
方針1：公共交通のネットワークの再構築及び利便性の向上	目標1：鉄道の利便性の向上 目標2：乗継拠点の機能強化 目標3：バス・タクシーのネットワーク再構築・利便性の向上 目標4：バス・タクシーの安定的な運行の維持	目標に紐づく形で14の事業を実施 (以下、一部抜粋) ・裾野駅・岩波駅の機能強化 ・既存バス路線の再編、ルート変更の検討・実施 ・データ利活用による利便性向上事業の実施 ・新たな公共交通システムの検討・導入
方針2：公共交通の認知度の向上及び利用促進による利用者の増加	目標5：公共交通に関する分かりやすい情報提供 目標6：関係主体の総力による公共交通の利用促進	
方針3：地域と一体となった移動手段の充実	目標7：交通弱者に対する移動支援策の充実 目標8：地域に合った移動手段の検討・導入	

本取組の目的・概要

本取組では、市民満足度の低い公共交通の改善と交通空白地の解消に向け、国交省の補助事業を活用しつつ、ビッグデータ分析や住民意見交換を踏まえた新たな交通システムの実証を実施。

本取組の目的と概要

【本取組の目的】

- 市民満足度の低い**公共交通の改善と交通空白地の解消**

【本取組の概要】

- スマートフォンGPSデータ等の**ビッグデータ活用による現状分析**と、**住民意見交換会による現状と今後の方向性の整理**
- 分析に基づいた**新たな公共交通システム（オンデマンド交通等）の実証検討**（約1ヶ月間を想定）

※国交省事業の補助活用

活用する
国の事業

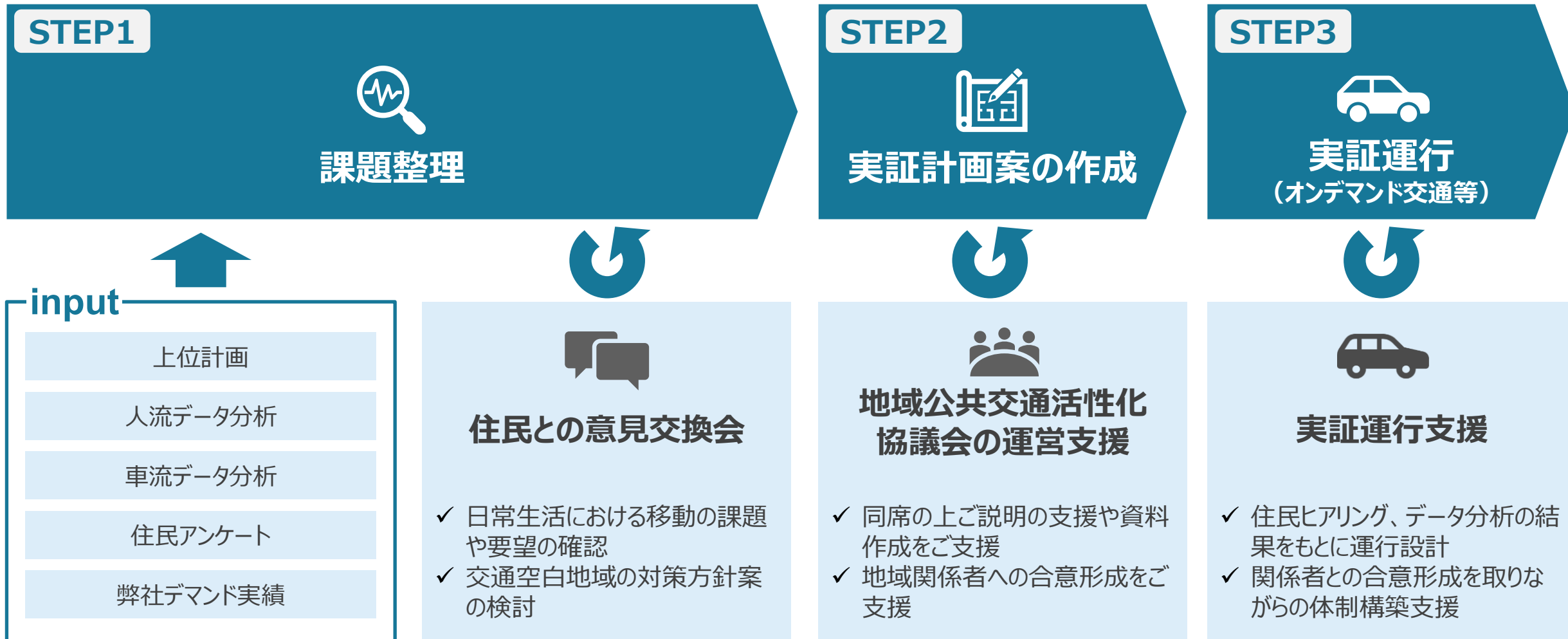
国土交通省
「交通空白」解消緊急対策事業

本事業の
目的

何らかの対応が必要な「交通空白」を抱える地域において、「交通空白」の解消に向けたサービスを実施するための仕組みの構築を支援

本取組の実施方針

データなどの分析に加えて各関係者との調和を重視しながら計画策定を推進。



本取組のスケジュール

下記スケジュールにて本取組を実施した。

カテゴリ	実施事項	令和8年																				
		7月	8月			9月			10月			11月			12月			1月		2月		
	マイルストーン	●選定結果通知																●実証運行開始			●最終報告	
		●契約締結																●地域公共交通活性化協議会				
		●プロジェクトキックオフ																				
	期間	課題整理						実証計画案の作成			実証準備期間						実証運行		報告まとめ			
プロジェクト管理	プロジェクト管理																					
(1) 裾野市の公共交通の現状把握と交通を取り巻く環境の整理	貴市ヒアリング																					
	現状把握・課題抽出																					
	データ分析に向けたシナリオ立て																					
(2) 住民の移動傾向に関する基礎調査、およびビッグデータ分析	可視化内容の確認（人流データ分析）																					
	データ集計・加工（人流データ分析）																					
	可視化（人流データ分析）																					
	講義資料作成（人流データ分析）																					
	可視化内容の確認（車流データ分析）																					
	データ集計・加工（車流データ分析）																					
	可視化（車流データ分析）																					
報告書作成																						
(3) 住民からの意見ヒアリング	意見交換会に向けたコンテンツ作成																					
	意見交換会実施																					
	意見交換会の結果取りまとめ・報告書作成																					
(4) 空白地域の対策の方針検討	空白地域の対応案の整理																					
	空白地域の対応案の比較評価																					
(5) 実証計画案の作成	実証計画案の作成																					
(6) オンデマンド交通等の実証実験における体制構築等の支援	運輸支局への申請																					
	オンデマンド交通の運行設計																					
	ステークホルダー調整																					
	広報支援																					
	住民説明会 ※実施見送り																					
	実証運行																					
	最終報告																					

04 - 1

実証運行概要

運行概要

項目	内容
サービス名	須山で作る公共ライドシェア
運行時期	令和8年 1月13日(火) ~ 2月13日(金)
運行時間	朝2便 須山支所⇄岩波駅往復 6:45発、須山支所→裾野駅 8:30発 夕3便 岩波駅⇄須山支所往復 17:30発、19:00発、岩波駅→須山支所20:20発
運行車両	1台 ハイエース
予約方法	スマホアプリ
予約開始	令和8年 1月10日(土)~
予約受付時間	スマホアプリ: 24時間受付
予約確定方法	即時確定
予約可能範囲	乗車 3日前 ~ 前日17時 まで ※2月9日,10日,12日,13日に限り、岩波発の夜便は直前まで
運賃	一律500円 ※高校生まで0円~500円の自由設定、幼児無料
支払い方法	現金
運行事業者	三ツ輪交通自動車

運行概要 ※参考/チラシ

須山で作る公共ライドシェア

～中高生の自力移動から考える地域づくり～

地域住民が運転する車で、お出かけしませんか

スマホからWeb予約



乗車

- ①手を振って合図
- ②ニックネームを伝え、運賃を支払う



利用者



乗合い(一般ドライバ)

実証期間

令和8年1月13日(火)～2月13日(金)

土日祝を含む毎日運行(事前予約が必要です)

1か月間

<岩波行>
6:45発/7:12着
18:15発/18:42着
19:40発/20:07着

<裾野行>
8:30発/8:57着

<須山行>
7:25発/7:52着
17:30発/17:57着
19:00発/19:27着
20:20発/20:47着

須山支所→裾野駅

須山支所⇄岩波駅

料金(実証時のみ)
小中高:0～500円(寄付制※)
一般 :500円

<予約/キャンセル期間>
3日前～前日17時
※予約枠が空いていれば
直前まで予約可

※寄付制: 0～500円の間で自力移動の価値に見合った金額を、自分で決めてお支払いください。
(今後の運行に向けての参考にさせていただきます)

出典: 裾野市「須山地区公共ライドシェア」の案内

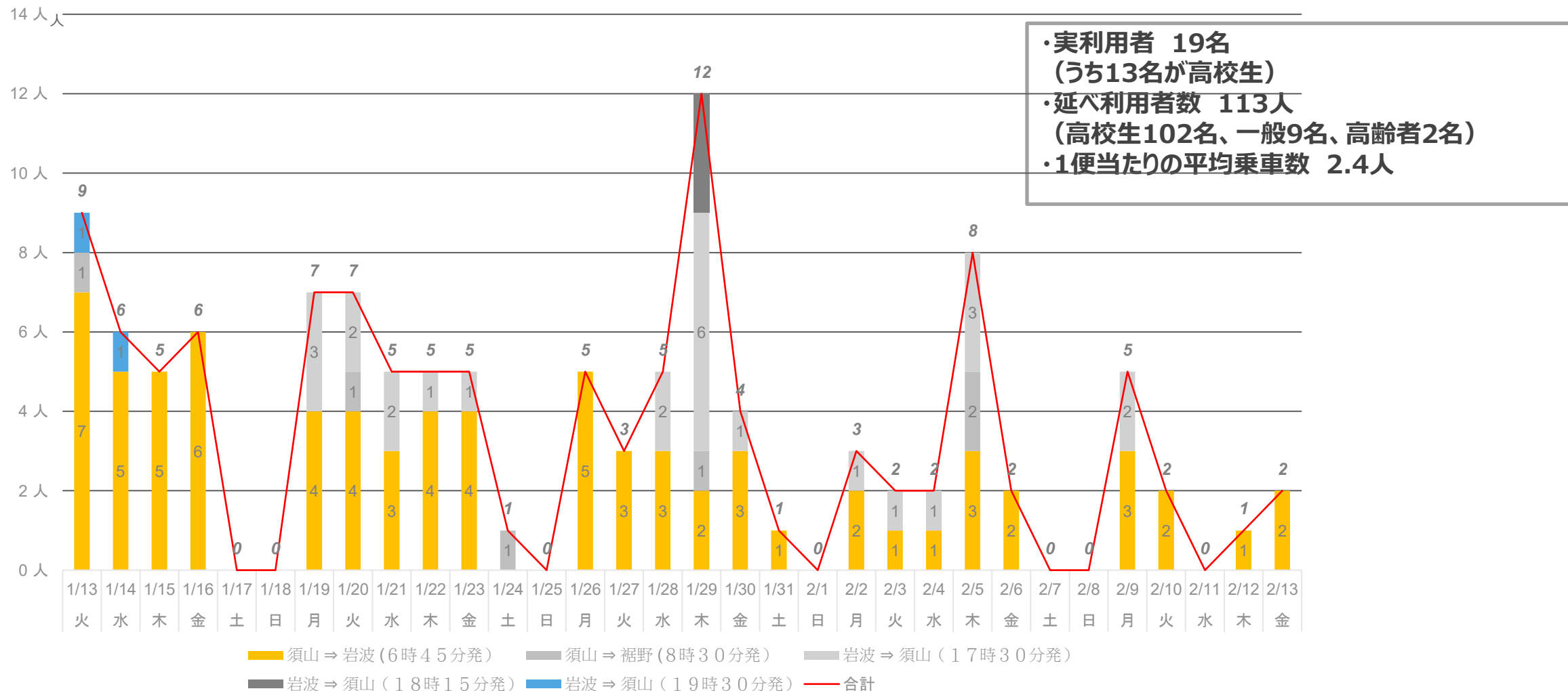
04 - 2

実証運行結果

利用実績

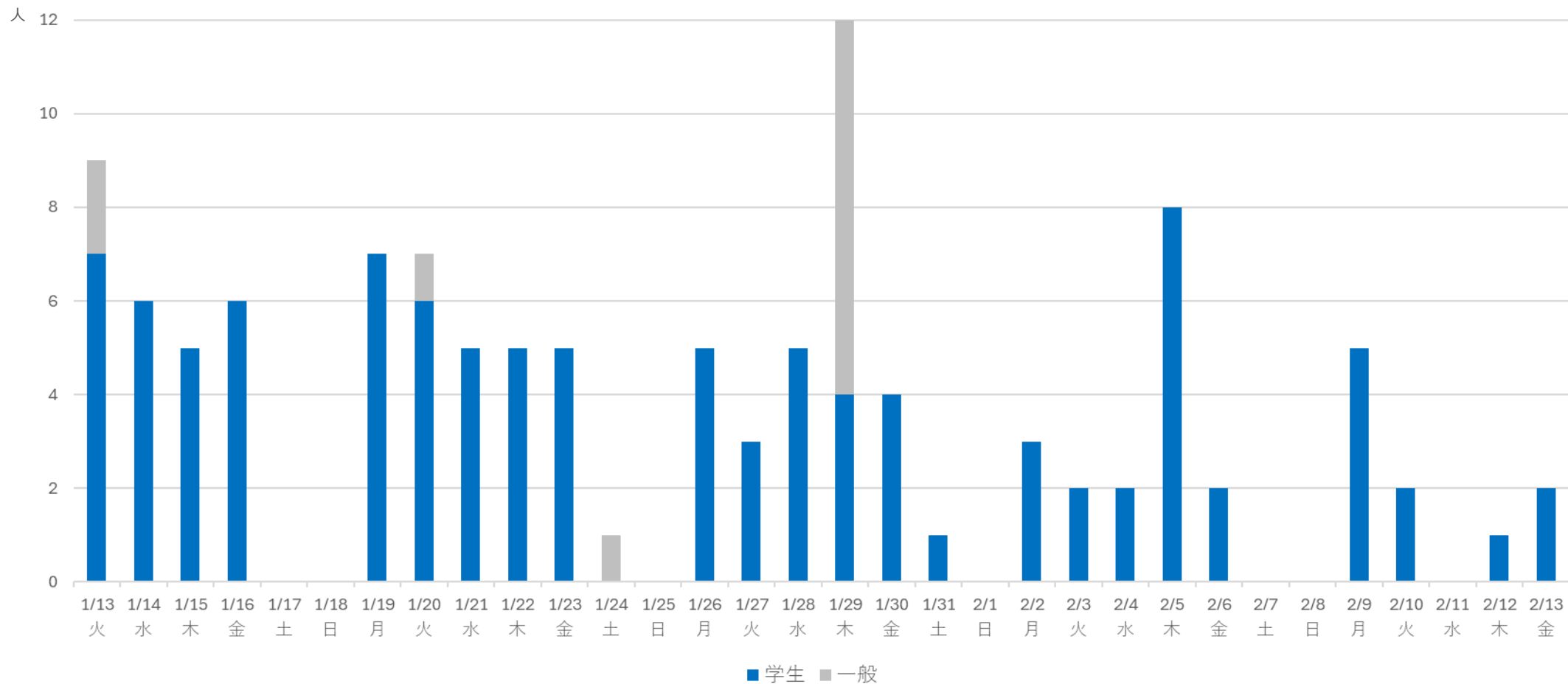
6:45発 須山⇒岩波の便(朝の通学)にて定常的に利用された。
一方で土日の運行はあまり利用されなかった。

須山地区ライドシェア実証運行実績(令和8年1月13日～令和8年2月13日)



利用実績

学生の利用が大半。

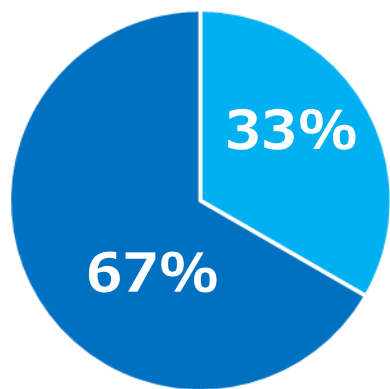


学生利用者の満足度

「須山地区公共ライドシェア」全般（予約のしやすさ、運行時間帯、停留所の場所、運転）にて利用者に満足いただけた。

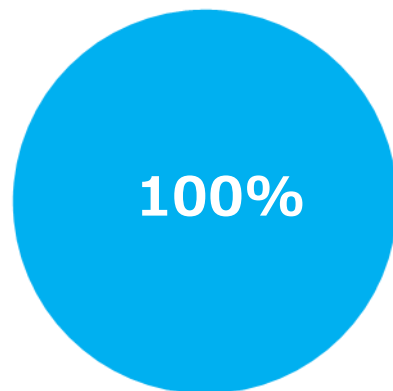
予約のしやすさ

やや満足している

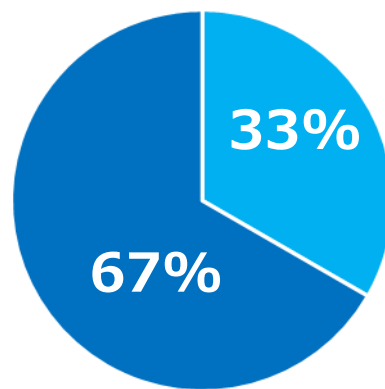


満足している

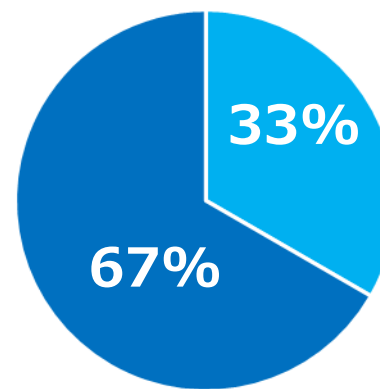
運行時間帯



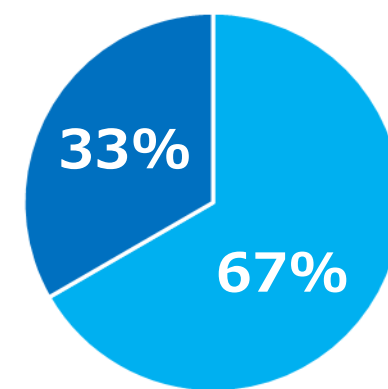
停留所の場所



運転者の
運転・対応



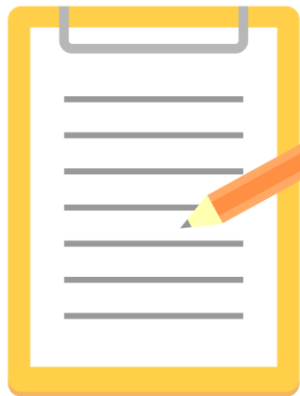
須山地区
公共ライドシェア
に対して



n = 3

学生利用者の声/今後の期待

サービスの拡大(提供時間、提供地域)や利用料金の割引制度や回数券の導入が期待されている。



今後も「公共ライドシェア」が運行される場合、どのようなサービスに関する取り組みがあれば良いと思いますか。

サービス提供時間の拡大（早朝・夜間など）

サービス提供地域の拡大

利用料金の割引制度や回数券の導入

ライドシェアを実施していただきありがとうございます。移動が楽になり、とても助かっています。ぜひ、このまま運行をお願いします。

学生利用者の声/移動の課題

潜在的には移動に関する不便さを感じている。



普段の生活においてあなたが
感じている、移動に関する課
題を教えてください。

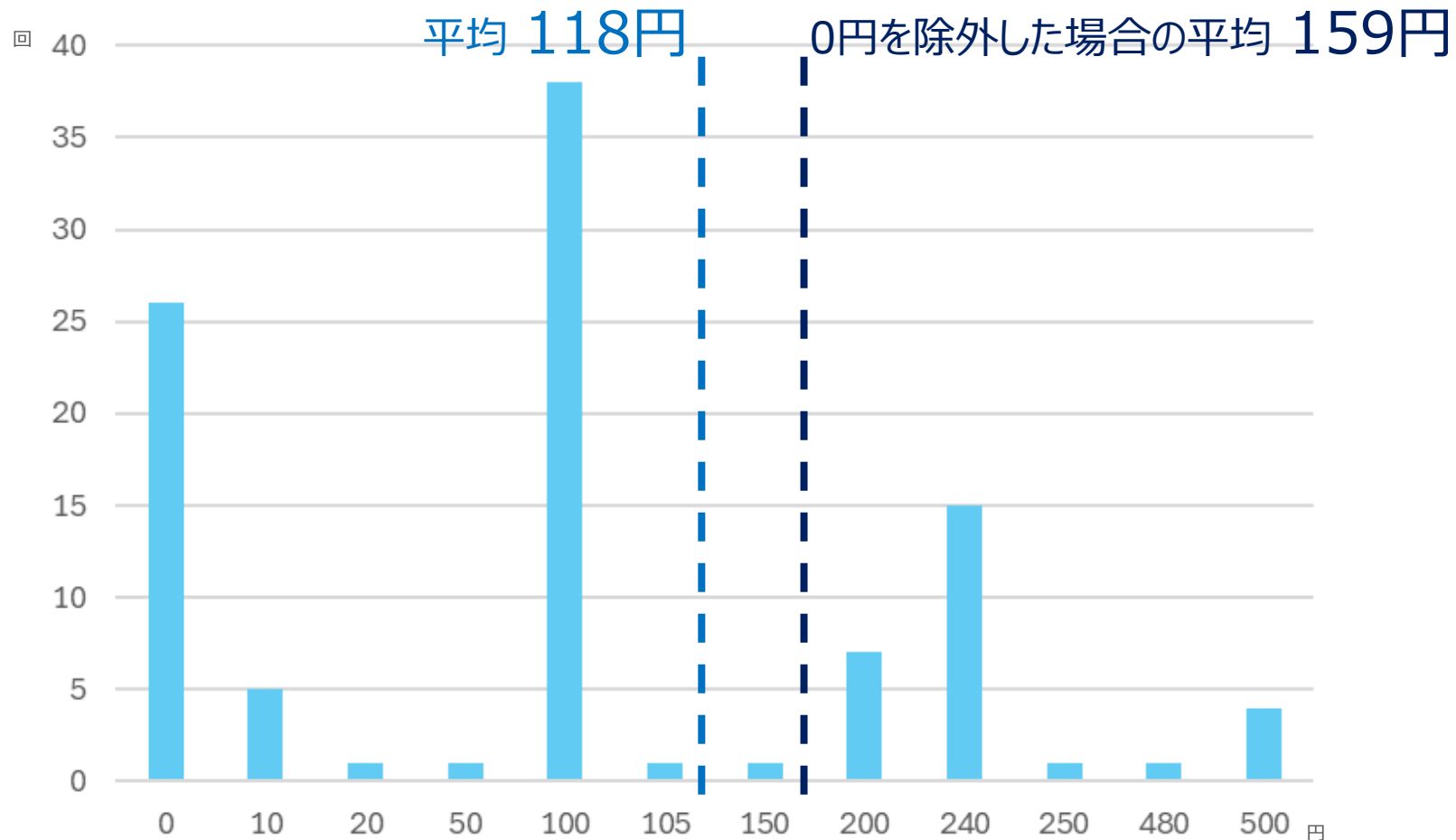
最寄り駅まで遠い

路線バス・電車の運行本数が少ない、運行時間が短い

路線バス・電車の運賃に経済的負担を感じている

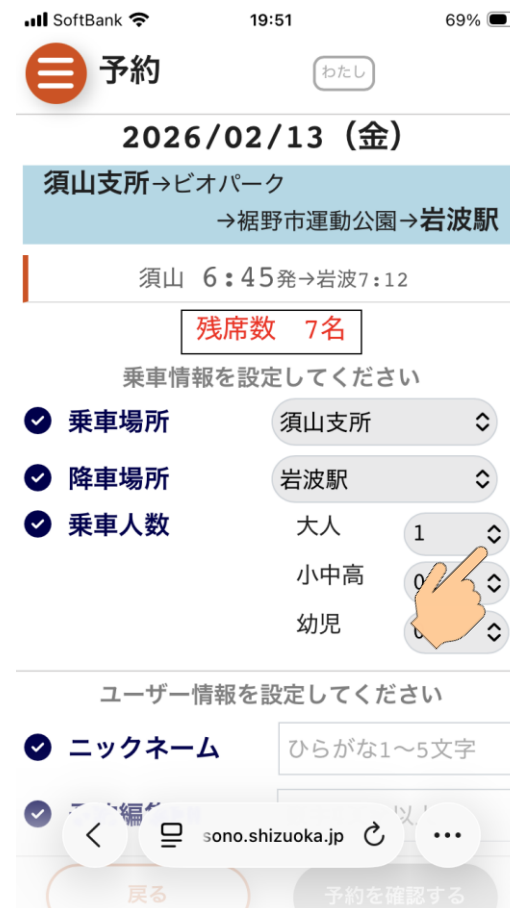
運賃(学生)の利用実績

通学運行の運賃は、利用者の実績を参考にすると100~200円。
他自治体でのデマンド運行では小学生or小中学生を半額としているところが多い。



予約システムを利用した結果

定時定路線型の運行では、実証で使用した予約システムの機能で十分であることが確認できた。

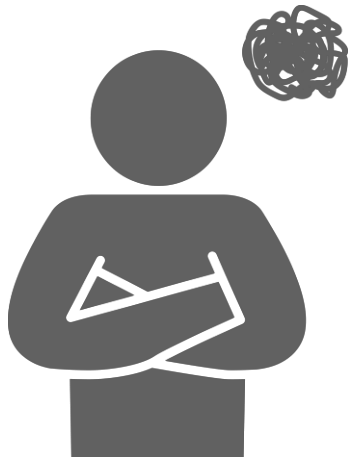


※ドライバーさんの使用感も良好であることを確認



ライドシェアを実証しての課題

講習会の都合を含めてドライバーの立ち上げスキームの構築が必要。



住民ドライバーが2名ほど集まったが
講習会の機会が少ないため予定が合わず
住民ドライバーは未稼働となった。